

## 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)対策について

平成20年8月6日 総合政策課

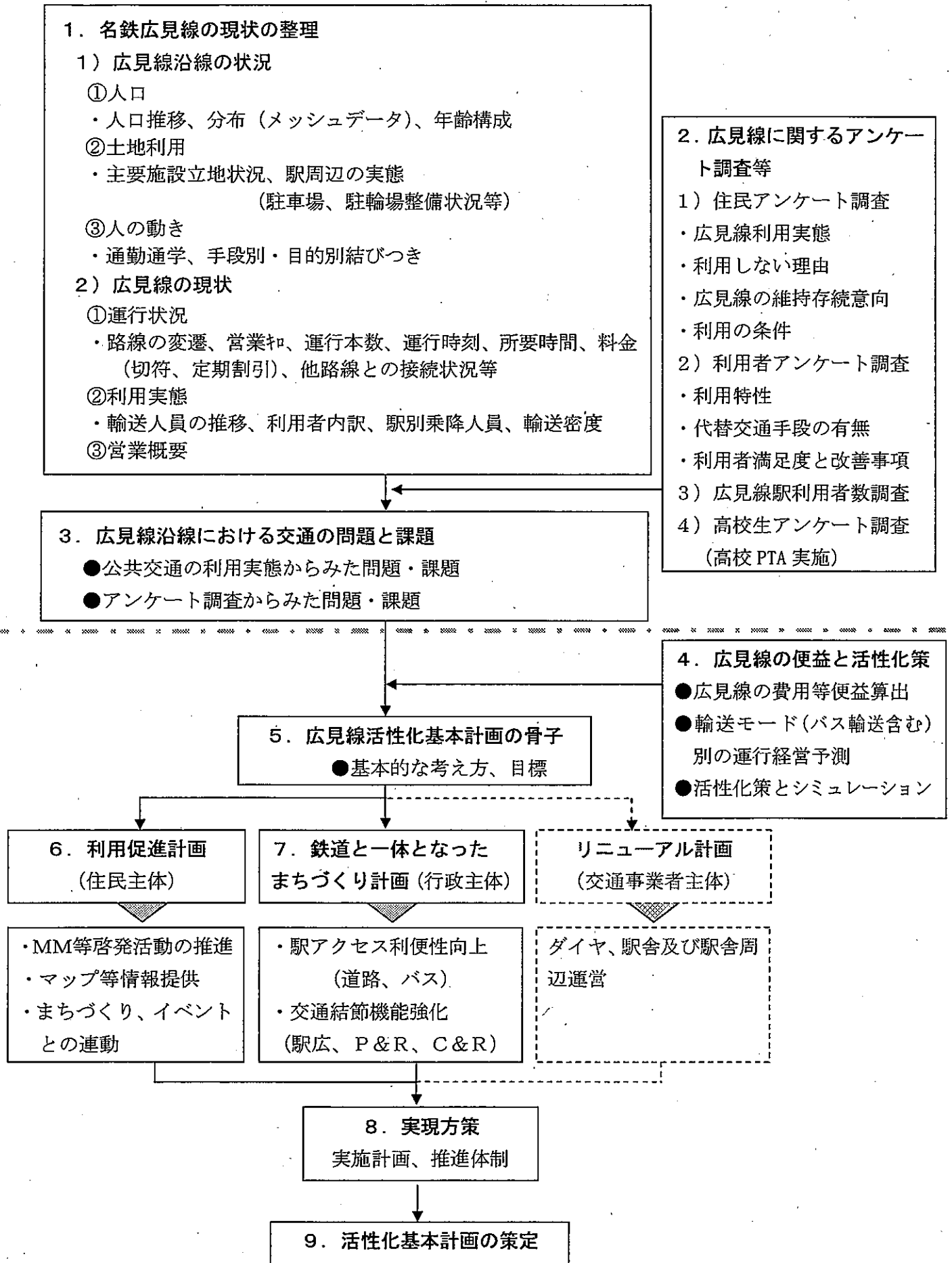
- 名鉄広見線活性化基本計画策定フロー・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)に関する動き・・・・・・・・・・P2
- 名鉄広見線に関する高校生アンケート調査(中間報告)について・・・P3～12
- 名鉄広見線対策協議会 委員・団体の存続等への意見・・・・・・・・P13～14

<存続に向けた取組み・関係者が出来ること>

- 名鉄広見線を存続させるためには、各関係者が主体的に利用促進・活性化に向けた取組みを行い、利用者を増やすことが必要です。  
利用促進・活性化のための具体的取組みメニューについて、地域公共交通協議会での協議をお願いします。

(メモ)

# ■名鉄広見線活性化基本計画策定フロー



■名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）に関する動き（前回協議会 6月3日以降）

◆平成20年6月29日

名鉄ダイヤ改正実施

名鉄広見線 新可児駅⇄御嵩駅間折り返し運転開始（午前10時以降はワンマン運行）

御嵩駅・明智駅 駅員無配置化実施

◆平成20年6月30日より

可茂地区高等学校PTA連合会 高校生アンケート調査票配布（7月4日回収）

◆平成20年7月10日・13日

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）利用者アンケート調査票配布（7月28日投函締切り）

◆平成20年7月10日

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）駅利用者数調査実施

◆平成20年7月11日

名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅）沿線住民アンケート調査票郵送

（7月28日投函締切り）

<アンケート実施状況>

アンケート調査対象	配布件数	回収件数	
可茂地区高等学校アンケート	—	1,204	
沿線住民アンケート	2,420		御嵩町 1,500件 可児市 920件
駅利用者アンケート	1,107		

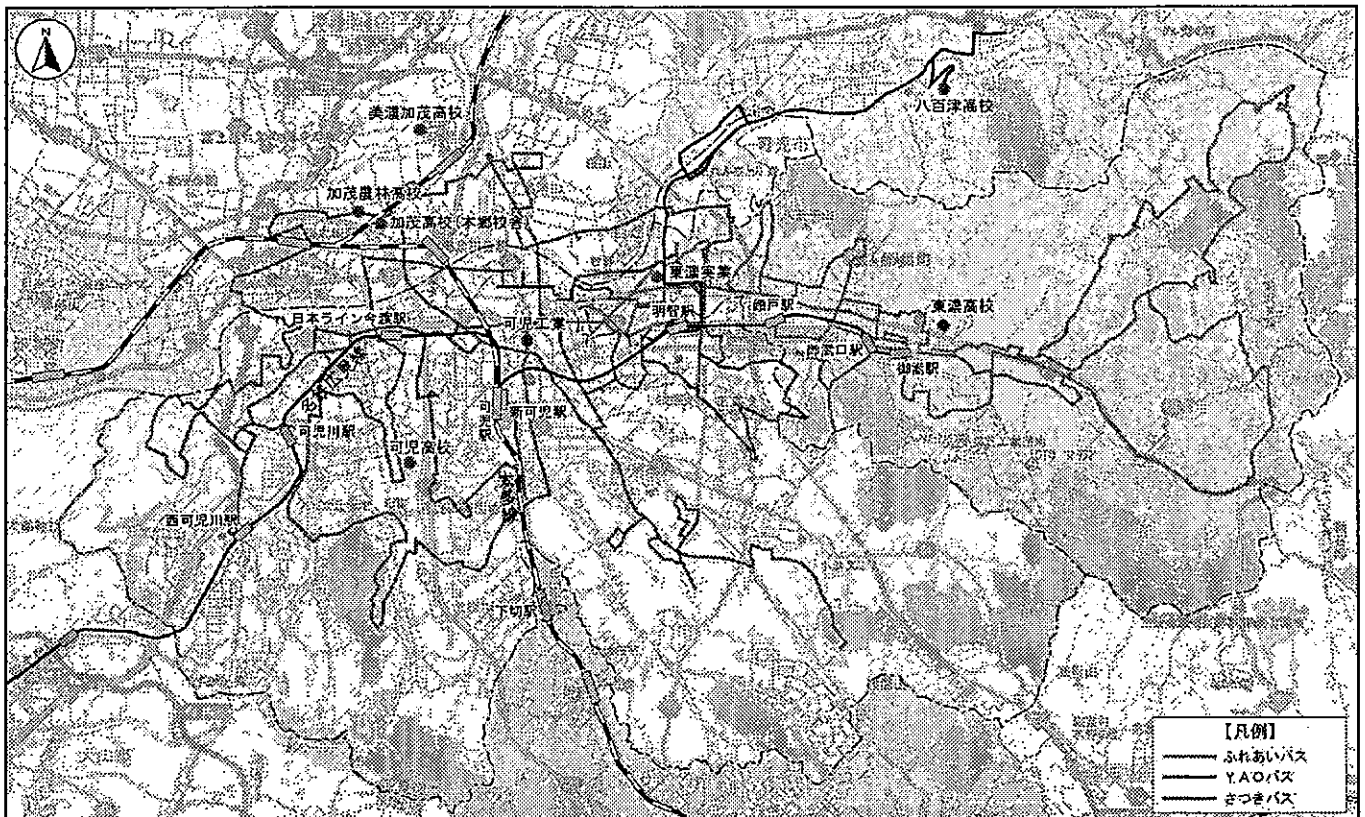
■「名鉄広見線に関する高校生アンケート調査」の概要

- ・調査主体：可茂地区高等学校 PTA 連合会
- ・調査時期：平成 20 年 7 月
- ・調査対象：東濃、八百津、東濃実業、加茂（本郷校舎・白川校舎）、加茂農林、可児、可児工業、美濃加茂の計 9 高等学校在学者のうち、名鉄広見線（新可児駅～御嵩駅間）で通学可能な生徒
- ・回収状況：8 高等学校合計 1, 204 票（学校別の回収数は下表参照）  
\*加茂高校（白川校舎）は該当者なし

■各学校別の回収結果

	回収数
①東濃	220
②八百津	191
③東濃実業	463
④加茂(本郷校舎)	105
⑤加茂農林	16
⑥可児	87
⑦可児工業	70
⑧美濃加茂	52
合計	1, 204

■名鉄広見線と各学校の位置図



## ■アンケート調査項目の概要

- 問1～問3 属性（性別、学年、住まい）
- 問4 住まいから一番近い鉄道駅
- 問5 その鉄道駅までの交通手段
- 問6 その鉄道駅までの所要時間

### ☆通学について

- 問7 主な通学手段
- 問8 学校までの所要時間

### ☆広見線（新可児駅～御嵩駅）を通勤に利用している高校生について

- 問9 定期券所有の有無
- 問10 通学利用乗降駅
- 問11 通学利用頻度
- 問12 利用満足度
- 問13 通学利用継続有無
- 問14 広見線が利用できなくなったときの通学手段

### ☆広見線（新可児駅～御嵩駅）を通勤に利用していない高校生について

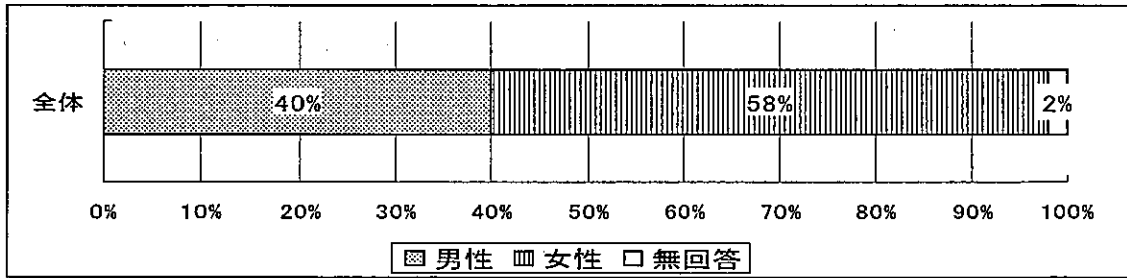
- 問15 通勤に利用しない理由
- 問16 その理由の改善後の利用有無
- 問17 その理由の改善後も利用しない理由

### ☆広見線（新可児駅～御嵩駅）の利用促進等について（全員対象）

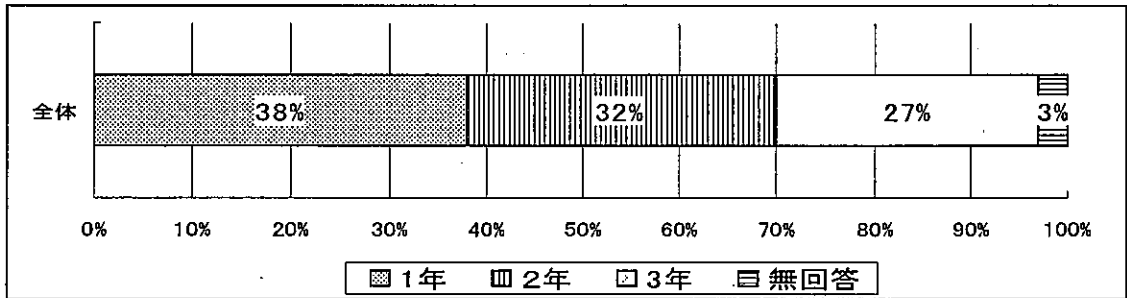
- 問18 通勤以外の利用有無
- 問19 その目的
- 問20 その頻度
- 問21 広見線が利用できなくなったときの自身の影響
- 問22 利用促進に向けた重要度
- 問23 利用促進への参加・協力
  
- 問24 存続に向けての提案・意見

■「名鉄広見線に関する高校生アンケート調査」の中間報告

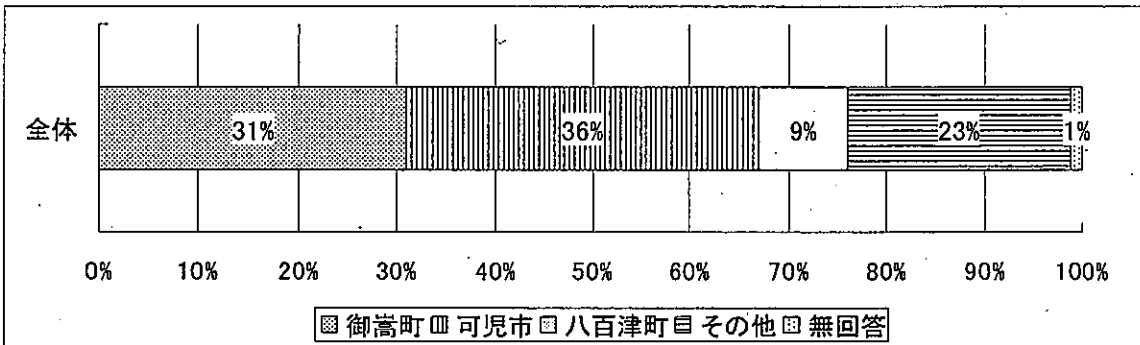
□問1 性別 (n : 1,204)



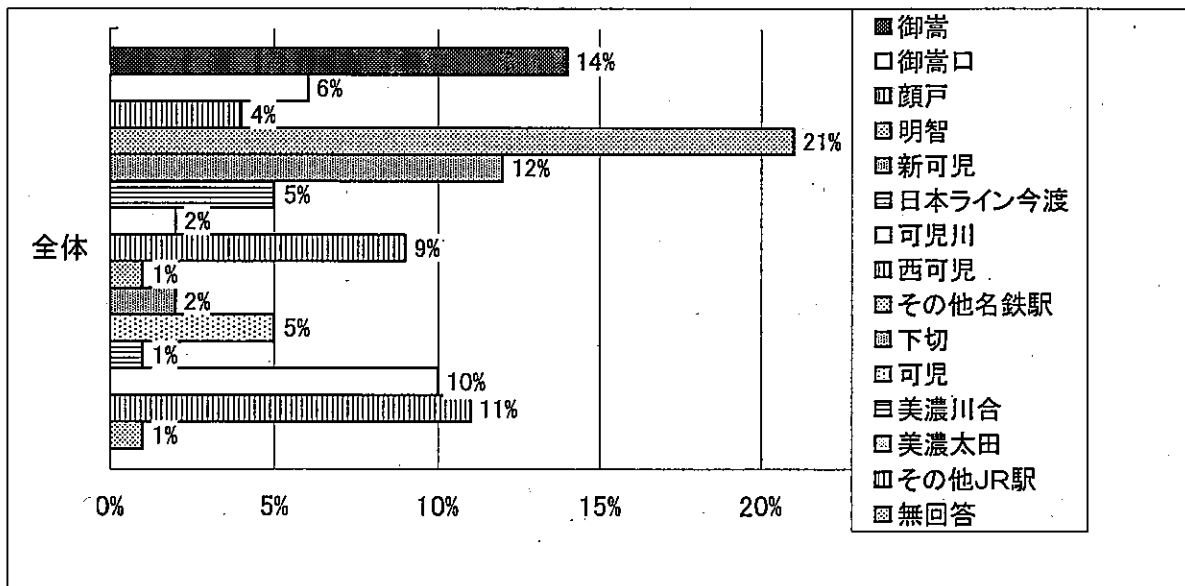
□問2 学年 (n : 1,204)



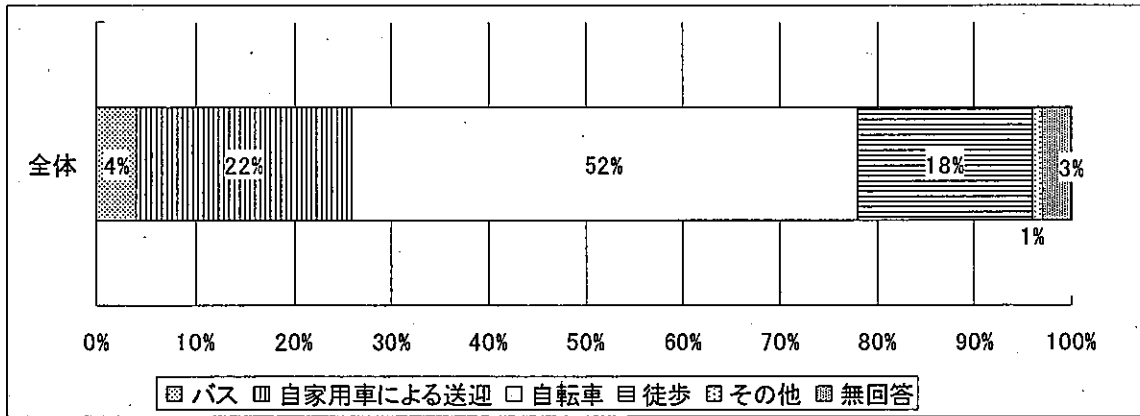
□問3 住まい (n : 1,204)



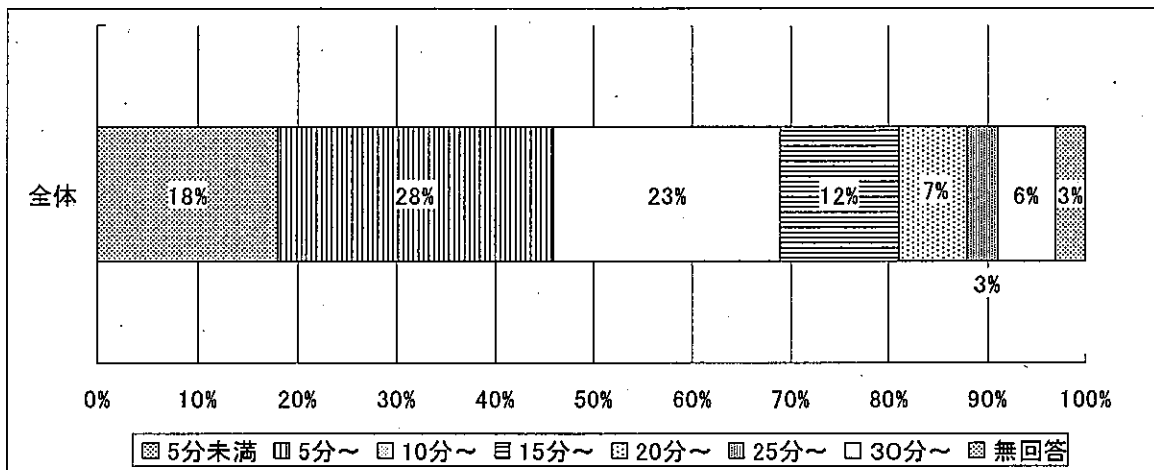
□問4 住まいから一番近い駅 (n : 1,204)



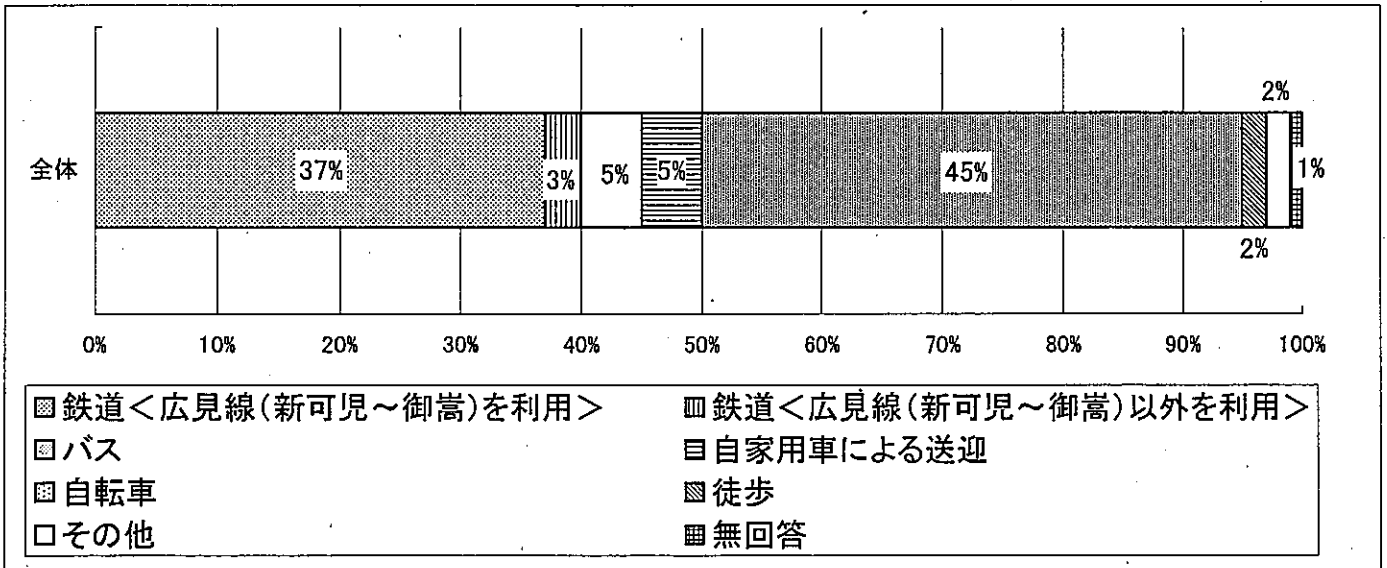
□問5 住まいから一番近い駅までの主な交通手段 (n : 1,204)



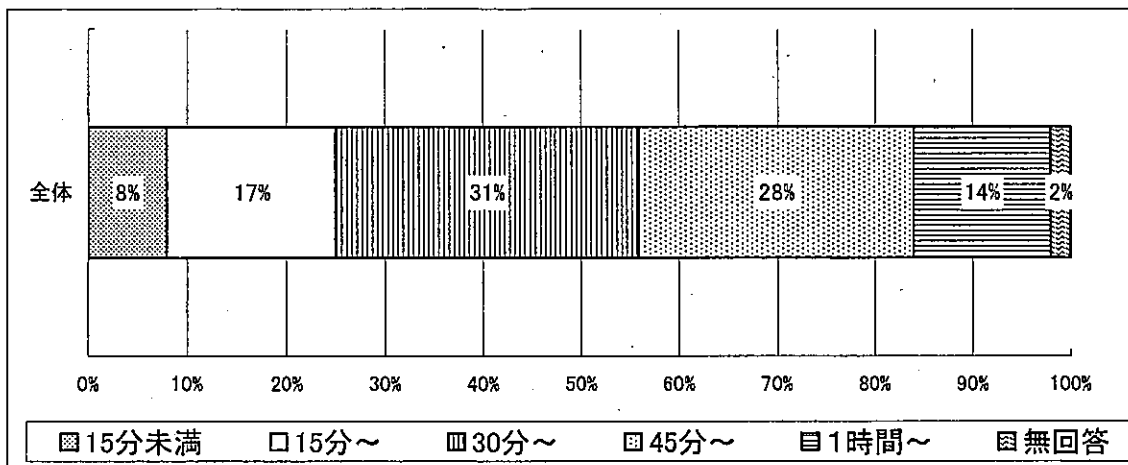
□問6 住まいから一番近い駅までの所要時間 (n : 1,204)



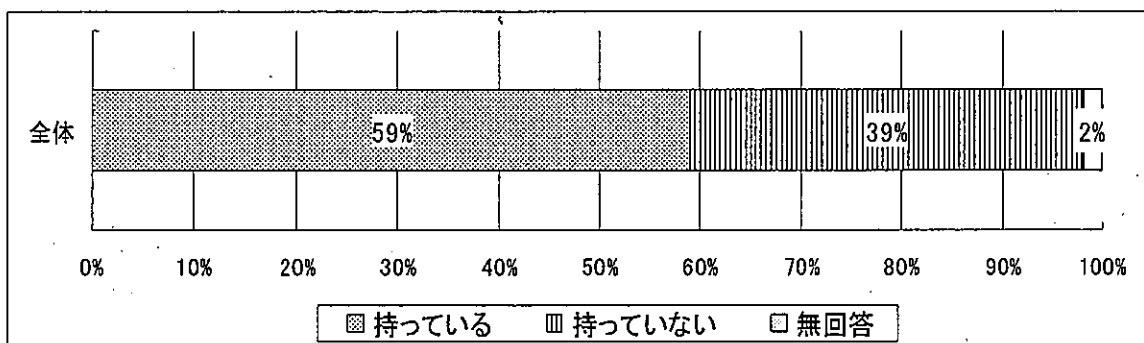
□問7 主な通学手段 (n : 1,204)



□問8 学校までの所要時間 (n : 1,204)



□問9 通学定期の有無 (新可見~御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ n:784)



□問10 通学に利用している駅 (新可見~御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)

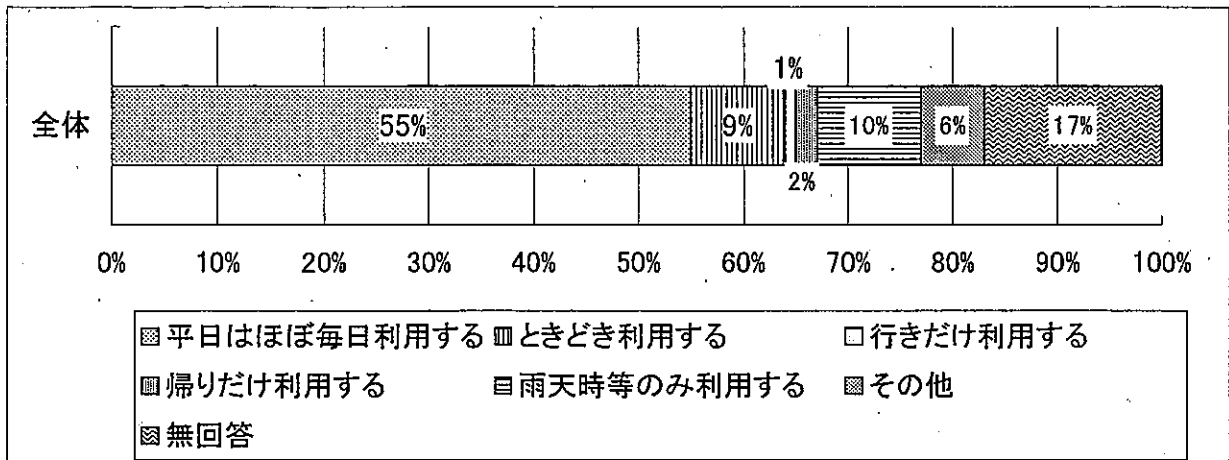
	明智	新可見	日本ライン今渡	可児川	西可見	その他名鉄駅	JR下切	JR可見	JR美濃川合	JR美濃太田	その他JR駅	無回答	合計
御嵩	57 7.2%	116 14.8%	27 3.4%		36 4.6%	3 0.4%	1 0.1%	2 0.3%	6 0.8%	10 1.3%	2 0.3%	1 0.1%	261 33.3%
御嵩口	6 0.8%	21 2.6%	3 0.4%					2 0.3%				1 0.1%	33 4.2%
顔戸	7 0.9%	6 0.8%	1 0.1%							1 0.1%			15 1.9%
明智		118 15.1%	16 2.0%	14 1.8%	65 8.3%	2 0.2%	3 0.4%	9 1.1%	3 0.4%	13 1.7%	11 1.4%	2 0.3%	256 32.7%
新可見											2 0.3%		2 0.3%
JR可見									1 0.1%		2 0.3%		3 0.4%
JR美濃太田												1 0.1%	1 0.1%
JR古井											14 1.8%		14 1.8%
JR白川口												1 0.1%	1 0.1%
無回答												198 25.2%	198 25.2%
合計	70 8.9%	261 33.3%	47 6.0%	14 1.8%	101 12.9%	5 0.6%	4 0.5%	13 1.7%	10 1.3%	24 3.1%	31 4.0%	204 25.9%	784 100%

\* 上段: 回答数(往復計) 下段: 全体構成比



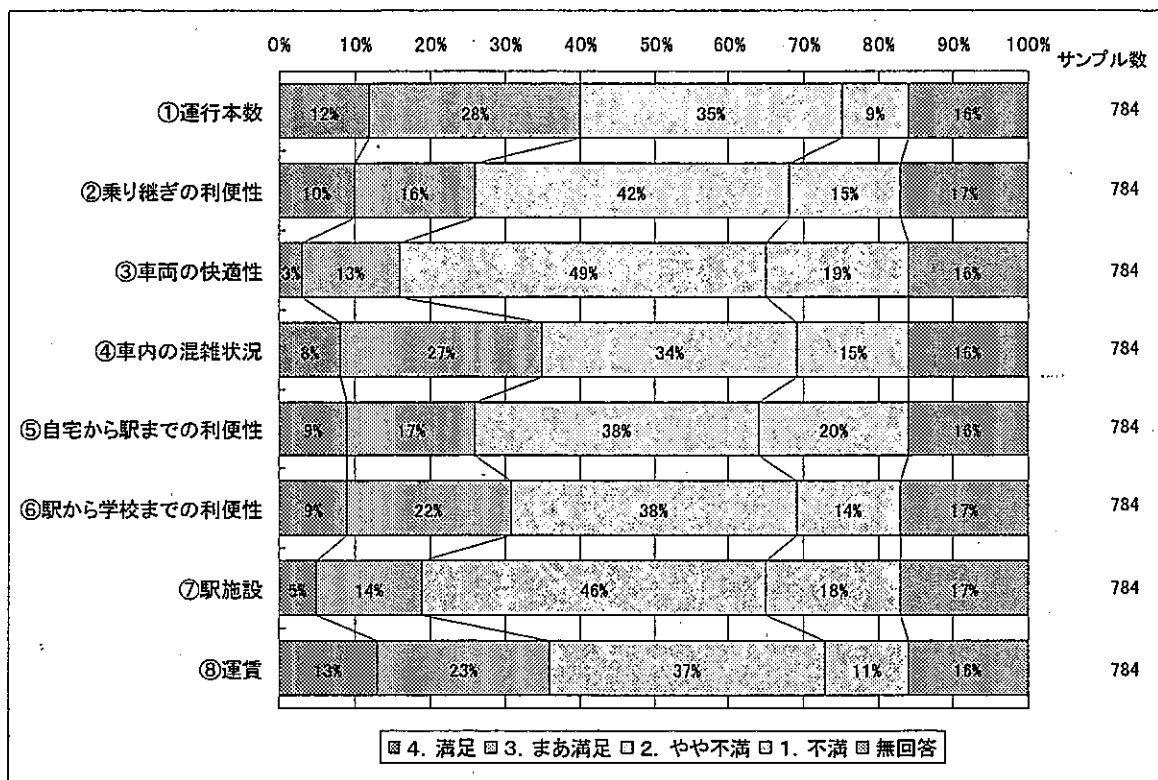
(n : 784)

問 11 通学に利用している頻度 (新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)



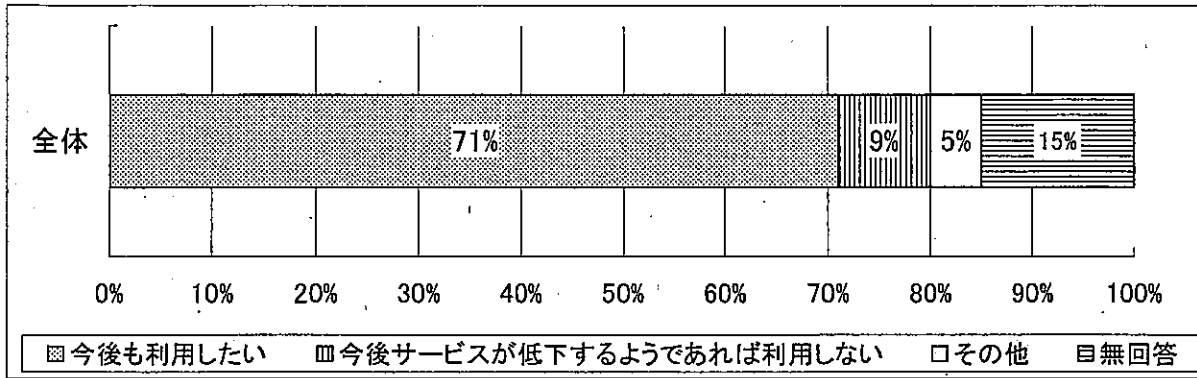
(n : 784)

問 12 広見線の満足度の程度 (新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)



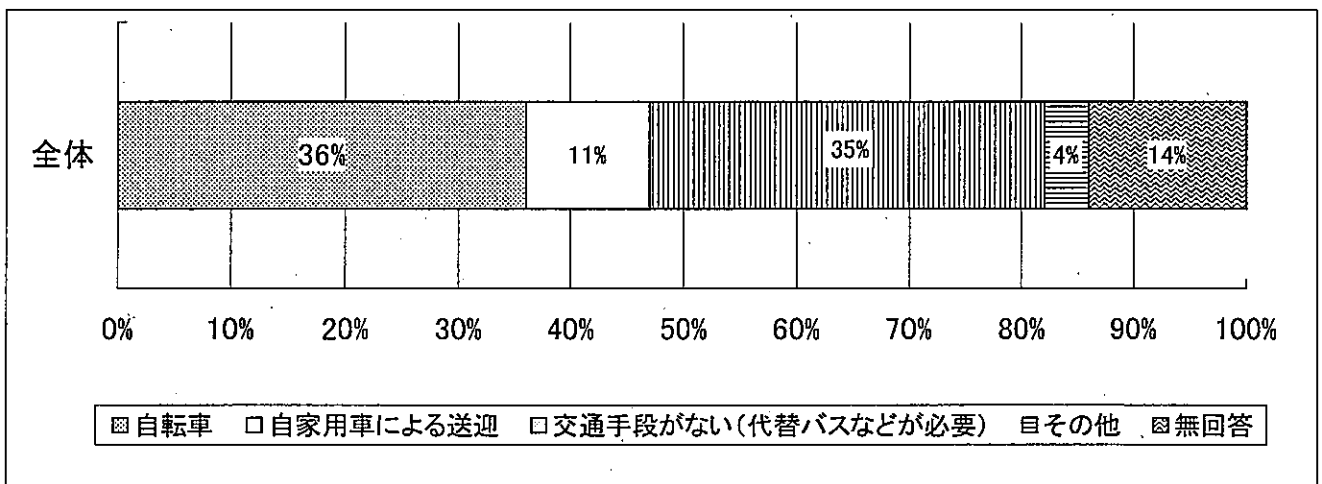
(n : 784)

□問 13 今後も通学利用するか (新可児～御嵩をときどきも含め通学利用している高校生のみ)



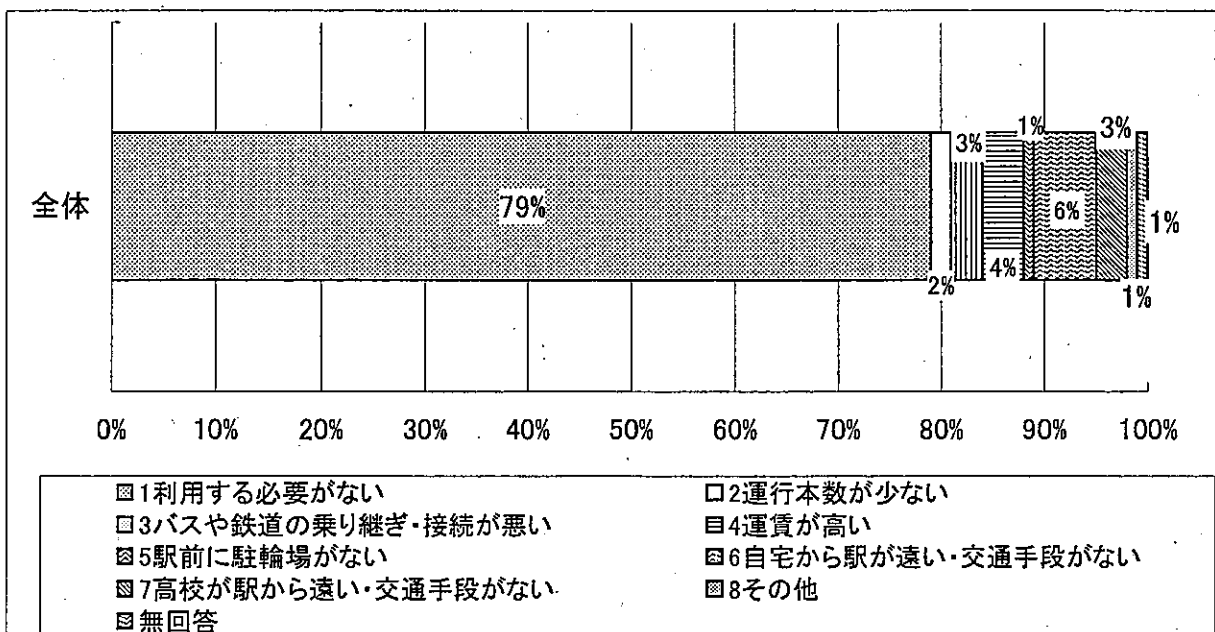
□問 14 広見線が使えなくなった場合の通学交通手段

(n : 784)



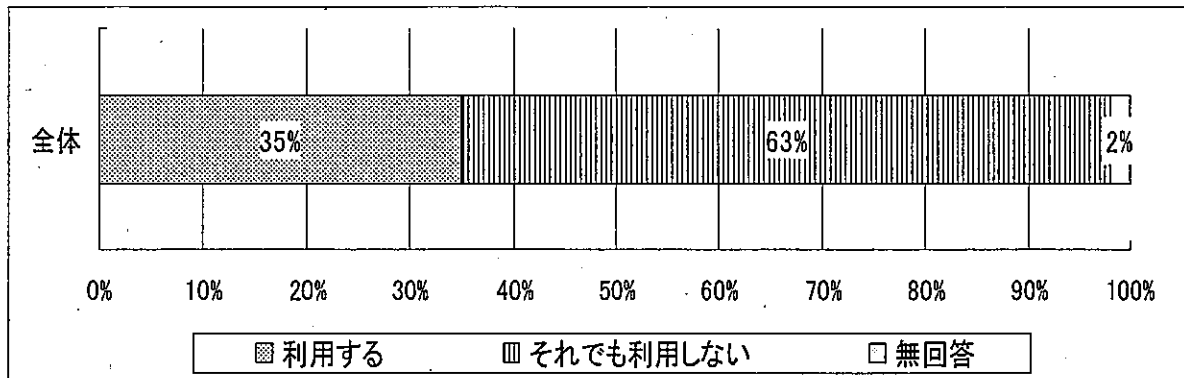
(n : 367)

□問 15 広見線を通学に利用していない理由 (新可児～御嵩を通学利用していない高校生のみ)



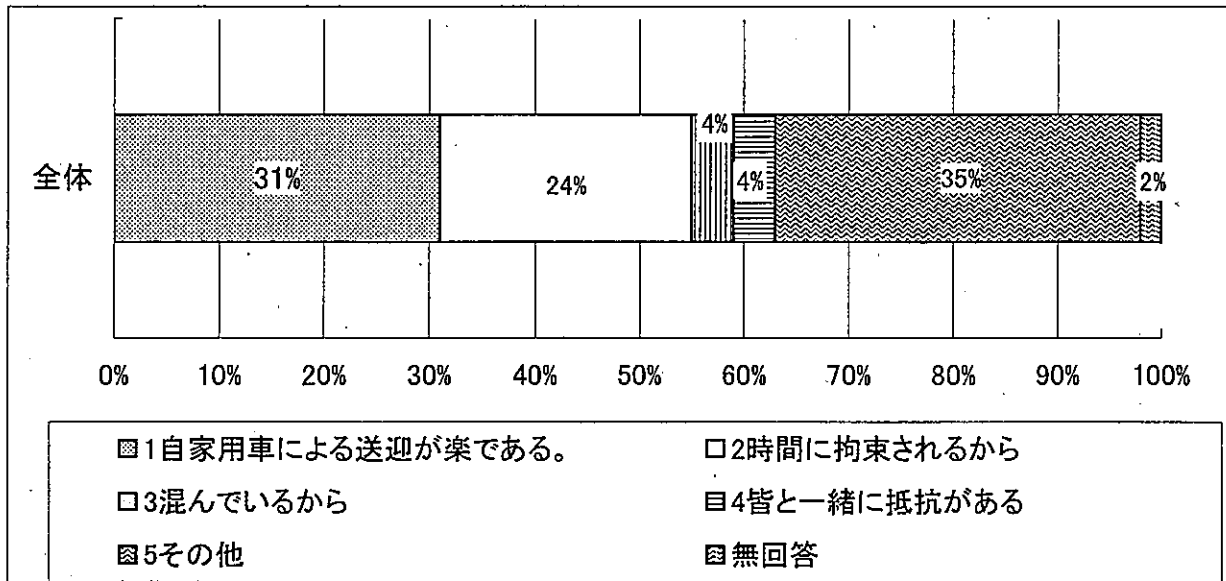
□問 16 問 15 (2~8) に挙げた点が改善されれば広見線を通学利用するか (n : 78)

(新可児~御嵩を通学利用していない高校生のみ)

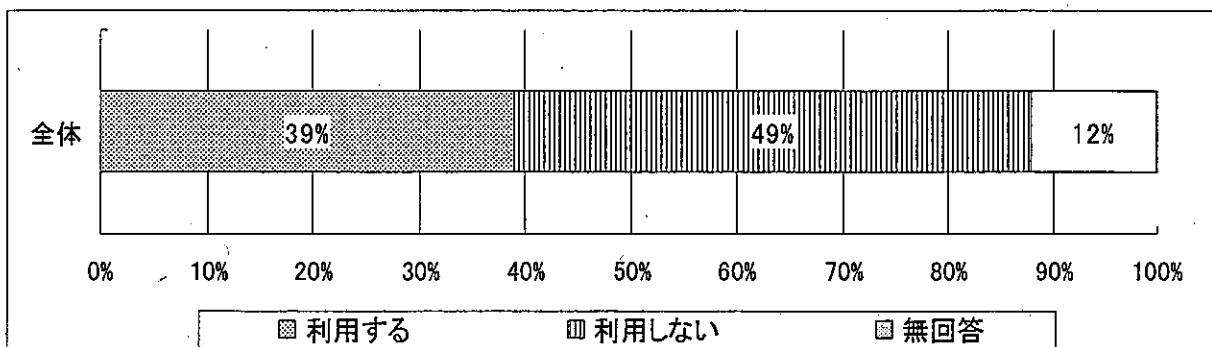


□問 17 問 16 の回答のそれでも利用しない理由(新可児~御嵩を通学利用していない高校生のみ)

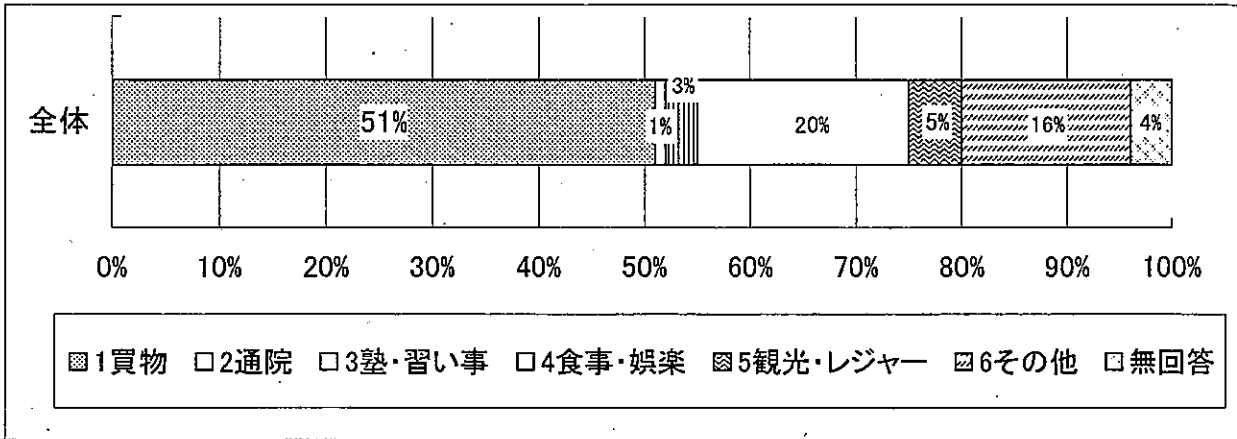
(n : 49)



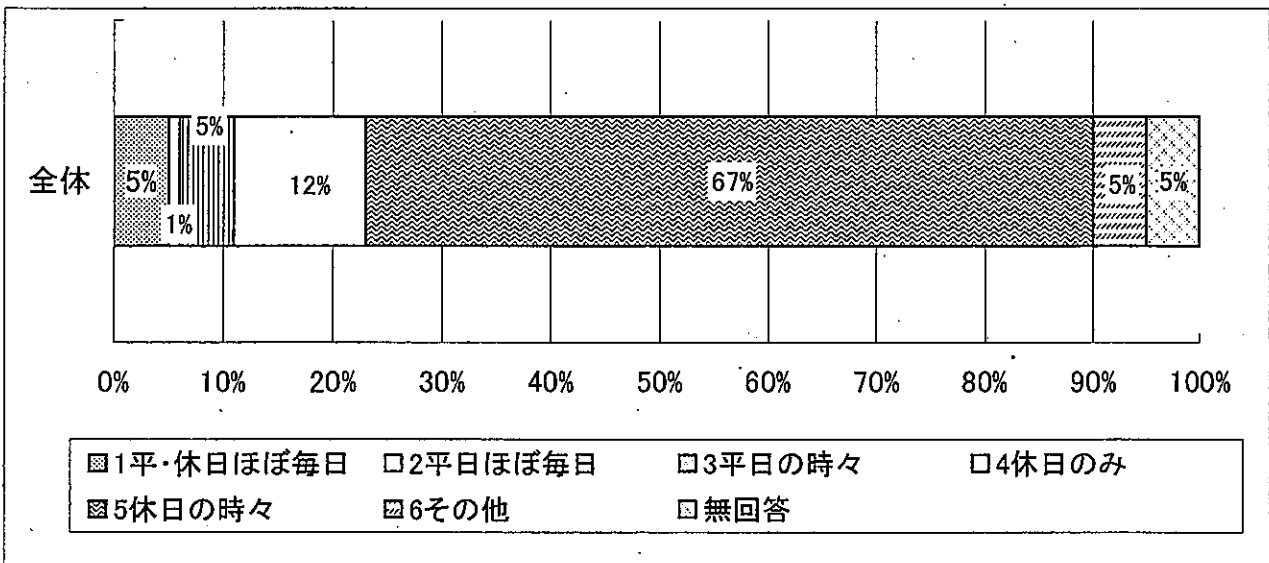
□問 18 通学以外に広見線を利用するか (n : 1,204)



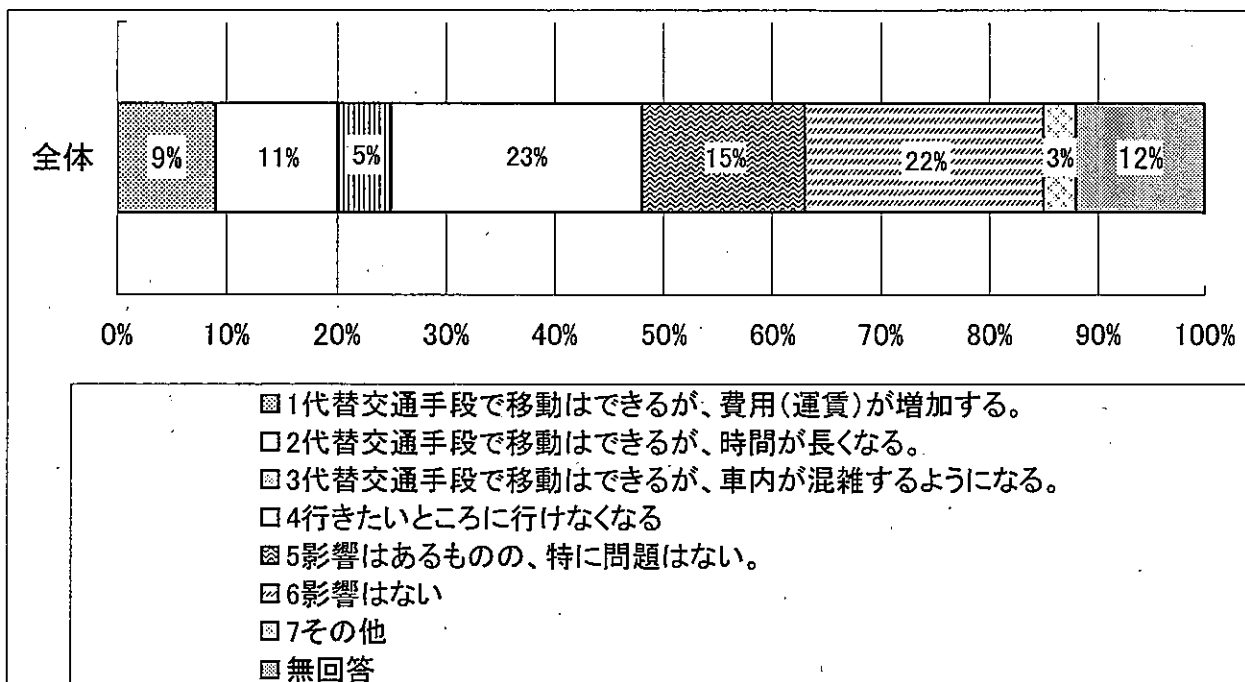
□問 19 通学以外に広見線を利用する目的 (n : 474)



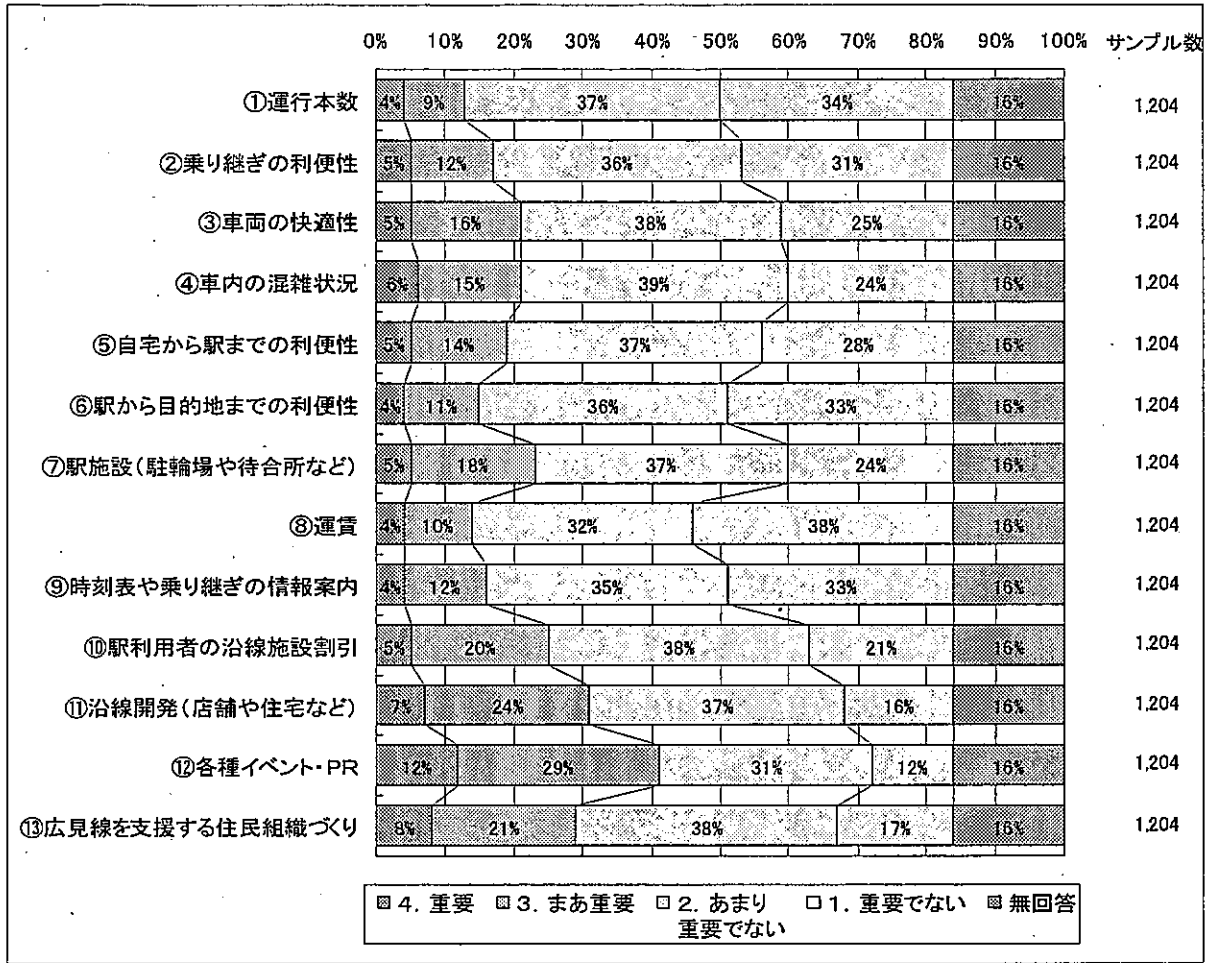
□問 20 通学以外に広見線を利用する頻度 (n : 474)



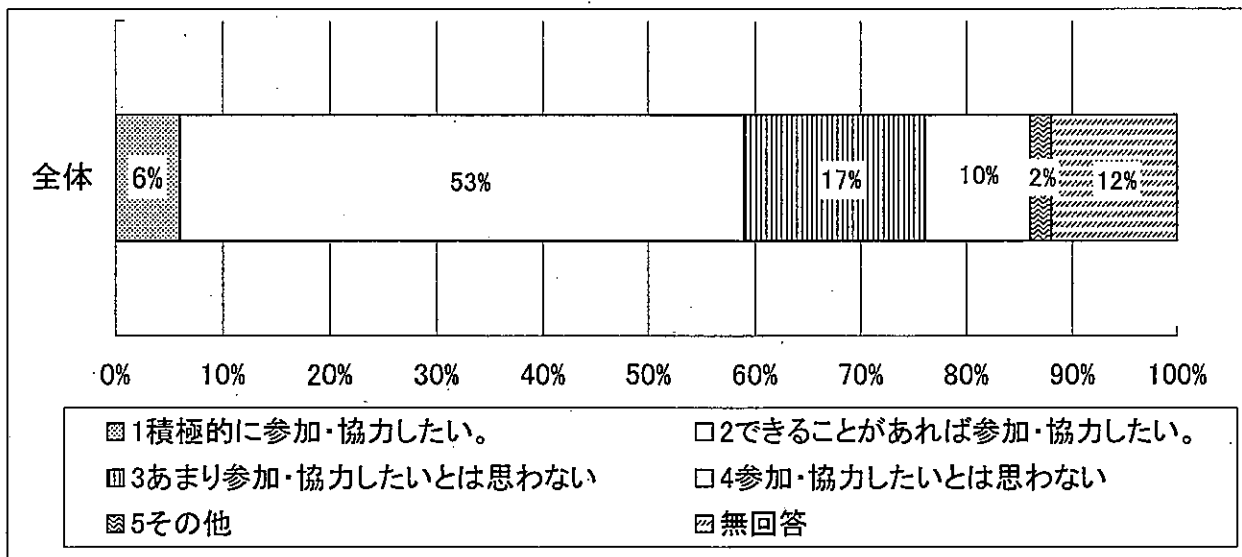
□ 問 21 広見線が利用できなくなった場合の自身への影響 (n : 1,204)



□ 問 22 広見線利用促進に向けた重要度の程度 (n : 1,204)



□ 問 23 広見線利用促進に向けた取組みへ参加・協力 (n : 1,204)



## ■名鉄対策協議会 委員・団体の存続等への意見

### 存続の必要性

- ・ 高齢者、高校生などにとって大切である。
- ・ 東濃高校の存続が危ぶまれる。
- ・ 高校の選択の幅が狭くなる。
- ・ 廃線となると保護者への負担も大きくなる
- ・ 通勤・通学・一般利用を考えると存続させてほしい
- ・ 町の人口増加、活性化には欠かせない。
- ・ 車での移動が中心となり、人と人との交流が少なくなる。
- ・ 廃線となれば、人口流出につながり、町が崩壊する。
- ・ 他に大量輸送の手段が無い。
- ・ 朝夕など中心に、バスなどでは満足な輸送ができない。
- ・ 社会的便益から鉄道以外の代替手段が無い。

### 存続議論の留意点

- ・ 通学に不自由がないなら廃止でもやむを得ない。
- ・ 必ずしも存続ではなく、廃線によって困る人が何割なのか。
- ・ 鉄道からの代替措置は不便にならないこと。
- ・ きちんとした代替手段が整えられるか。
- ・ 可児市との合併も視野に。
- ・ 住民の声を聞き、行動をよく見る。
- ・ 1人1人がしっかりとした意見を持つこと。
- ・ 運行赤字への負担はどれくらいなのか。
- ・ 市町と名鉄の歩み寄り
- ・ 残るための条件を整理する。
- ・ 広域的に捉え、関係市町・国・県と連携し、土岐市方面への路線拡張を視野に。

## 存続への課題

- ・ 赤字をいかに減少させるか。
- ・ 名鉄から「存続の前提」を引き出すこと。
- ・ 議会と町執行部との一体化
- ・ いかに各界、各層の声を活かせるか。

## 具体的な取り組み

### 要望

- ・ 名鉄への請願、要望の提出
- ・ 存続議決、国等への陳情

### 住民への意識高揚

- ・ 老若男女が環境に左右されない運動
- ・ 住民への意識高揚
- ・ CO2削減意識運動
- ・ 機会を捉えて利用する意識啓発
- ・ 官民一体でパンフレット、TVなどのPR
- ・ 利用者への存続アンケート実施
- ・ 鉄道存廃に関わる不安を取り除くこと。
- ・ 防災行政無線での啓発

### 利用促進策

- ・ 誰もが利用できる環境づくり
- ・ 駅の駐車場、駐輪場、待合室の整備
- ・ 高校の卒業生も巻き込む
- ・ 可児駅周辺に駐車し新可児駅での乗車をやめて、明智駅から乗車すること。
- ・ 観光案内を充実させ、鉄道利用の来訪者を増やす。
- ・ 歩いて散策したり、自転車でまちを楽しむまちづくりを行い、電車での来訪者を増やす。
- ・ 職員、学校の先生などに電車通勤を呼びかける。
- ・ 体験無料切符の配布